



大森六中だより

令和5年 11月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

六中だよりはHPからも
ご覧いただけます。



倣う

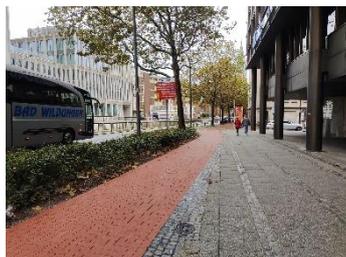
11月3日から11月10日までの8日間、大田区立中学校生徒海外派遣の団長として、ドイツブレーメンを訪問しました。

行きは羽田空港からイスタンブール空港を経由してブレーメン空港まで、乗継時間を含めて約19時間。帰りはハンブルク空港からイスタンブール空港を経由して羽田空港まで、乗継時間を含めて約17時間40分の長旅でした。

ドイツでは派遣生はホームステイしながら、主にブレーメン州において施設見学や体験活動、交流活動を通して、ドイツの生活や文化、歴史、風土を学び、また日本の文化・伝統等を伝えました。

私も共に活動するなかで、日本も倣うべきと感じる事がありました。

例えば、どの道路も歩道、自転車道、自動車道が明確に区切られています。特に自転車道は下の画像のように、自動車道から一段上がった歩道の自動車道寄りに茶色で色付けされているため、自動車と接触する危険をまったく感じません。朝の通勤時間には、多くの人が自転車を利用していました。



また、公共交通機関の主流は「トラム」と呼ばれる3両編成の路面電車です。

2両編成のバスもありますが、圧倒的にトラムの方が数多くの路線を走っています。このことは、自転車



利用と併せて、排気ガスやCO₂の削減に大きく貢献しています。

ドイツの消費税はほとんどの商品やサービスが19%ですが、食料品、書籍、新聞、文化イベント、宿泊施設、医療、歯科治療、テイクアウトなどは7%であり、また、アウトバーンと呼ばれる速度無制限（ブレーメン州は最高速度120km/hに制限）の国道は無料だったり、高等学校まで授業料が無料だったりすることから納得できます。こうしたことを日本も倣うことが出来たらと、強く思いながら帰国しました。

11/10（金）「六中平和の日」記念講演会

NPO法人 グッド・エイジング・エールズ 代表の松中 権さんをお招きし、社会の偏見や差別、無理解により生きづらさが生じることについて実体験を交えわかりやすくお伝えいただきました。性的マイノリティの人の割合は日本での左利き、A B型の血液型の割合とほぼ同じだそうです。多様性への理解を進め、互いの人権を尊重し、安心・安全に過ごせる「平和」な世の中を作っていきたいですね。

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

シビック・アクション シンポジウム

11月8日に東京都市大学夢キャンパスで行われたシビック・アクションのシンポジウムに六中生が参加し、今年度の活動を発表しました。森朋子氏のシビック・アクションの主旨説明の後、アメリカ合衆国から来日した教育系NGO Earth Forth CEOの Meldrum 氏のプレゼンテーションがありました。シビック・アクションでは、若者が課題解決のために行動する経験が大切で、行動するとき大人が寄り添い、権威に屈しないことが重要であると、具体例を挙げながら話していただきました。

オンライン含めて100名ほどの参加者がある、張り詰めた雰囲気の中、六中生の発表は正々堂々としていて、参加者から高い評価をいただきました。



今回は生徒会執行部の9名が参加して「平和問題」「食ロス問題」「気候変動問題」について発表しました。

発表後の協議の時間はとても有意義で、Meldrum氏は、前日に六中の授業見学もしていただいた上で、発表した生徒に質問を投げかけ、それに対して堂々と回答する生徒へ賛辞を述べられました。

3月の学習成果発表会では全生徒が発信する予定です。保護者の方はもちろん地域の方に見に来ていただきたい活動になっています。



以下、参加者の感想の一部です。六中生への感想が寄せられているものを抜粋しました。

■今回印象に残ったのは六中生の自分が人を動かすことができるということを知る事ができたという発言でした。これは正しく、シビック・アクションをしなければ得られない知見だと思います。

■教育プログラムを受けた大森第六中学校の生徒さんの生の声を聞いたのがとても良かった。ディスカッションパートでも様々な意見を聞くことが出来てとても意義のある時間になったと思う。

■本日はたいへん有り難うございました。Meldrum氏のお話は、リアルな状況のお話だった感じで、ある意味私達が向かう可能性のある、一つのフェーズなのかと感じました。大森六中の皆さんのプレゼンにびっくりしました。自信をもったことがよくわかるもので、これからの活動のコアになって行く頼もしさを感じました。

■今回参加して、改めて教育現場の在り方が環境問題解決の一途となると感じた。中学生のうちからシビック・アクションの授業を受けることで、個人だけの行動ではなく、社会としてどのように環境問題に対して行動するべきかを提案できる力が養われ、結果としてその子たちが大人になったときに実現できる可能性が高まり希望が見える。幼い頃からの環境教育がこれからますます必要になると期待される。

文化祭

10月28日(土)に文化祭を行いました。合唱の発表は、どのクラスも全力を出し切り、聴きごたえのある歌声でした。演劇部の公演は、コメディ色が強い脚本で、会場が笑いに包まれました。吹奏楽部の演奏は、映画のテーマ曲など馴染みのある楽曲が多く、多くの生徒が盛り上がりました。舞台上の装飾看板は、美術部が制作したものです。たくさんの生徒たちが力を合わせ、充実した文化祭となりました。



実行委員制作の入口看板



実行委員の生徒達



PTA 合唱



1年生



2年生



3年生



美術部



演劇部



吹奏楽部

大田区立中学校連合行事

先日、区内の施設で、大田区立中学校連合学芸会及び連合美術作品展が行われました。

- ・10月27日(木)～11月2日(金) 連合美術作品展 池上会館
- ・11月2日(木) 連合学芸会(英語の部) 大田文化の森
- ・11月7日(火) 連合学芸会(演劇の部) 大田文化の森
- ・11月10日(金) 連合学芸会(音楽の部) 大田区民ホール

音楽の部に参加した3年生の有志メンバーをはじめ、たくさんの生徒が六中を代表してこれまでの学習の成果を発表しました。



連合美術作品展



連合学芸会(演劇の部)



連合学芸会(英語の部)



連合学芸会(音楽の部)

